

出題意図：デザインにおいて最も必要とされるスキルは「観察力」である。多様な技法・手法をもとに自らのアイデアを組み立てて発信する「表現力」に加え、地域や社会の関わりから生じる歪みや違和感などアイデアの源泉となる「思考力」、アイデア実現のために計画を立て実行する「判断力」の3つの観点から、本学科学生の素養として求める「観察力」を試験配点より採点するものである。

出題した言葉は、出題者との共感を作るために受験者がアイデアを生み出す手がかりとして設定しており、受験者がこれまで経験した事柄を引き出すことを目的に設定した。デッサンを通して、出題から連想して視覚表現にまとめる受験者の個性と、地域や社会との関係性や興味関心を図る観察力を評価する。